

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフリーフ支援教室		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 1日		～ R7年 10月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年 9月 1日		～ R7年 10月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・PECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)を活用して、自発的なコミュニケーションを育てている。	・意思決定支援としてPECSを重要視し家庭と連携して取り組んでいる。	・専門的支援を実施し個別集中的にPECSの習得を目指す。
2	・個別の視覚的自立スケジュールを用いた見通しを立てる視覚的支援。	・スケジュールに選択肢を設け利用者自身の意思決定の機会を設けている。設定されたスケジュール通りに活動するだけでなく予定変更にも対応できるようにスケジュールは常にランダムに設定している。	・スケジュールに対し拒否があれば絵カードにNO表示をし次の活動に移ってもらおう等、拒否を表出する練習も併せて行う。
3	・保護者からの療育に関する悩みや質問に助言が出来る。	・LINEや連絡帳アプリを活用し、質問に対して迅速に対応する事が出来る。	・子育てサポート加算・家族支援加算・関係機関連携加算Ⅱを活用して家族のサポートを充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団プログラムの実施がむずかしい。	・長期休暇等に集団プログラムを準備しているが、個々の活動(自発的な取り組み)を重要視しており、また感覚過敏等で参加が難しい利用者への配慮が必要。集団プログラムへの参加は一部の利用者で行う事は出来る。	・集団プログラムに参加できる利用者に関しては、個人のスケジュールに組み込み参加の機会を設けている。集団参加が苦手な利用者に関しては、個人のスケジュールにスタッフと1対1できるアナログゲームを設定する事で少しずつ参加を促している。
2	・定期的な創作活動の実施が難しい。	・コミュニケーション支援に重きを置いているため、定期的な創作活動の時間を捻出することがむずかしい。絵馬や短冊等、季節毎の制作物には取り組む事が出来る。	・室内の壁面飾りを作る時に利用者と一緒に取り組んだり、創作活動として取り組む時間を確保していきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
クオリティ・オブ・ライフリーふ支援教室		R7年10月27日				29名	24	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	75%	13%	4%	8%	・自分のスペースを確保して動いていると思います。 ・もう少し体を動かせるスペースや遊具があると嬉しいです。	第3訓練室の有効活用を考えていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	79%	4%	0%	17%	最近、室内を見ていないので以前と同じなら「はい」です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	最近、室内を見ていないので以前と同じなら「はい」です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	・5~10にかけて、とてもそう思います。家庭と同じ方向で力強く支援して下さっている事が本当に心強く大きな励ましと力を頂いています。 ・成長に対して色々な対応をしてくれている。 ・困りごとの行動に対し、どのように対応したかが、記録や口頭で説明して下さい。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	インスタ等調べましたが見付けられませんでした。	支援プログラムはHP内での公表になっているので、問い合わせがあればHPをお伝えする
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	家とデイでは本人の動きと違うのでデイでの課題を作って頂きそれを計画にしてくれていると思います。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	96%	0%	0%	4%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	丁寧にサービス計画を作って頂いているのでその計画に沿って対応等して頂いていると思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	4%	4%	0%	本人が好きないように過ごさ過ぎて迷惑かけている気がします。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8%	17%	25%	50%	・地域の学校なのでデイでも地域と関わるのはしんどいと思います。 ・なくてもよい。	
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	0%	13~14にかけて、定期的に行われるモニタリング面談以外にも、個人的に相談できる機会を作ってもらえたり、ペアトレをしてもらえたりとてもありがたいです。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88%	4%	0%	8%	・メールを頂いて嬉しかったのですが、高校卒業を目前にして不安や悩みが大きすぎて人には話せません。 ・このような支援プログラムがある事業所は初めてで、参加できる日を楽しみにしています。	PECS以外のテーマ（卒業後等）でのペアトレも企画していきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	96%	4%	0%	0%	活動記録や送り時等で情報共有出来ている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	・担当者会議にも参加して頂き、学校にもいろんな対応方法を伝えて頂いています。 ・PECSのこと、こどもの行動に対する対応方法など、都度アドバイスをもらえるのでありがたいです。	

各 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・とても！親子で強化してもらっています。 ・悩みに寄り添い喜びはわかち合えていると思います。 ・問題行動のみに焦点を当て、この人格を傷つけない対応をされていると思います。 	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	67%	4%	4%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児についてはわかりません。 ・きょうだい支援はきょうだいの年齢、性別により交流の難しさがあるように思います。 	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	96%	0%	0%	4%	相談に対し納得できる対応を頂いています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96%	0%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録に写真まで載せて頂き、毎回楽しみだとしても嬉しいです。 ・アプリやペクスが使用されており意思疎通に尽力いただいている。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	HUGで利用予約や連絡、請求書まで一括して見れる（できる）のがとても便利で助かっています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75%	0%	0%	25%	見た事はないですがあると思っています。	保護者への情報発信を増やす。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50%	0%	0%	50%	子どもの利用日にはなかったと思うので。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	88%	4%	0%	8%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	96%	0%	0%	4%		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ニコニコしてるので楽しみにしてるので安心しています。 ・27～29にかけて、子が笑顔で送迎車から乗り降りしてる事から、とても楽しく過ごしている事がわかります。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	96%	0%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・今も家に帰りたと言っているでしょうか？ ・自分でスケジュールに入れるぐらい楽しみにしています。 ・いつも自分ではりきって準備しています。 	帰りたそうにする利用者さんはよくおられます。その中で長く過ごせるような事など課題を見つけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・後もう少しで卒業ですが最後まで通えそうで良かったです。 ・日々の丁寧で温かい支援のおかげで前向きな変化が見られ感謝しています。 ・いつも相談にのって頂き、とても感謝しています。大満足しています。 ・困った時にまず思い浮かぶ場所です。頼りにしています。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティ・オブ・ライフフリーふ支援教室				公表日	R7年 10月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	71%	29%		女性スタッフが少ない。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	57%	43%				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	86%	14%			ヴァインランドⅡ、社会生活能力検査の実施可能な状態。今後必要なら実施していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	57%	43%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	43%	57%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	86%	14%		集団でのペアトレは行っていて、その機会が交流の場となっている。きょうだい同士の交流の場は作れていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	43%	57%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		